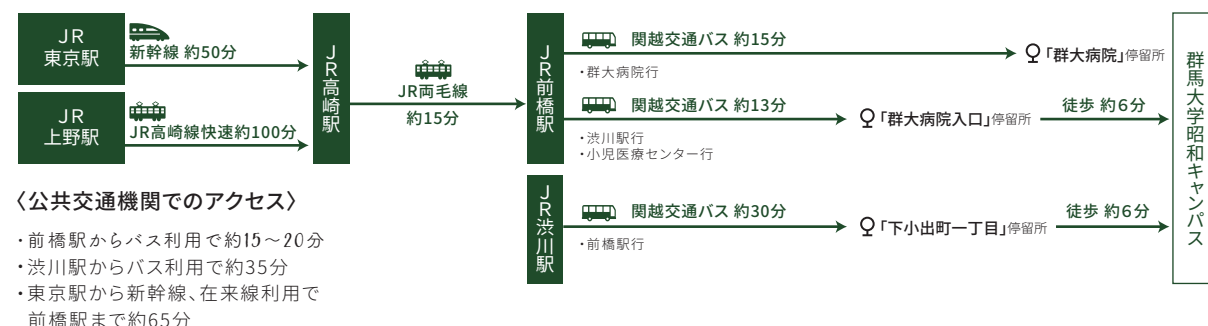
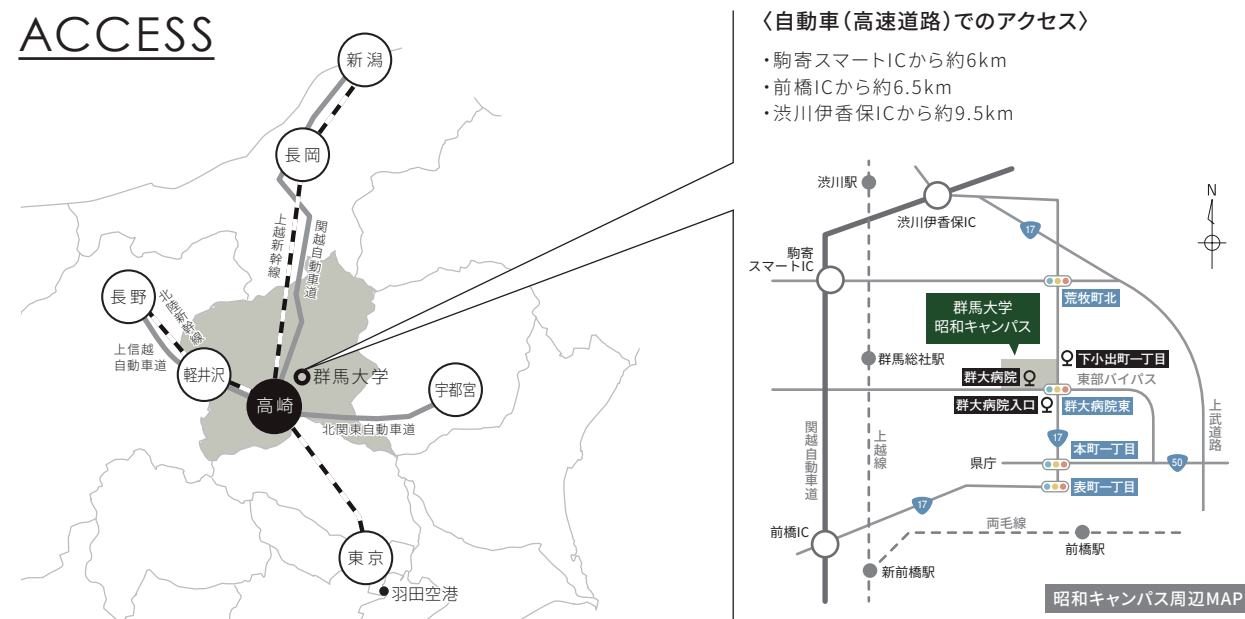


ACCESS



2024 群馬大学オープンキャンパス

グッデイ
GU'DAY

〈対象〉高校生・中学生・保護者等

詳細は決まり次第、
「受験生応援サイト」でお知らせします。

受験生応援サイト▶



<https://www.gunma-u.ac.jp/prospective/>



医学部(医学科・保健学科)

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町三丁目39番地22号



群馬大学公式HP



X



LINE



Instagram



Facebook



YouTube

GUIDE BOOK 2026



GUNMA UNIVERSITY
FACULTY of MEDICINE



人が診る、人を診る

CONTENTS

学部長メッセージ

現役学生座談会 01

医学科	04	保健学科	12	キャンパスマップ	22
医学科長メッセージ	05	保健学科長メッセージ	13	クラブ&サークル	22
教育の特徴	06	教育の特徴	14	キャンパスライフ	24
カリキュラム	08	カリキュラム	16	キャンパスライフQ&A	26
教員紹介	10	教員紹介	18	2026年度入学者選抜について	27
卒業生メッセージ	11	卒業生メッセージ	20	入学について	28

MESSAGE



豊かな人間性を身につけ、地域に根ざし
世界にチャレンジする医療人を目指しましょう！

医学部長 **調 憲**
KEN SHIRABE

群馬大学医学部は、1943年(昭和18年)に設置された前橋医学専門学校に端を発し、今年創立82年目を迎えます。北関東における医学・保健学教育と研究の中心として、医学科では多くの医師、医学研究者、医療行政者などを育成し、保健学科では看護師、保健師、助産師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士などの多くの医療人を育成し、医療の発展に大きく貢献してきました。医学部附属病院は、地域医療の中核として社会に貢献しています。さらに重粒子線医学センターでは、日本の大学で最初に設置された世界最先端のがん治療装置を用いて平成22年より重粒子線治療を行ってきました。

医学科は、生命や人体の構造と機能を追求し、疾病の本態を解明し、それを克服するための方策を探索する最先端の医学研究者や知識、技術に加えて優れた人間性を持つ医師を養成することを主な目的としています。保健学科は、総合的で先進的な保健学教育・研究を展開することをおして、保健医療の専門職として確固たる倫理観と豊かな人間性を持ち、社会的使命を果たすことのできる医療人の育成を目的としています。

医学部では、入学後早期から医療の実際に触れ、医療従事者となる上で必要な知識、技術、医療プロフェッショナリズムを学生自身が身をもって体験できるように配慮しています。また、医療は高度に専門化されており、医師一人では患者さんに最適な医療を届けることが難しくなっています。多くの職種の人たちのチームワークが必要です。医学科生と保健学科生

は、一部の教育・実習のプログラム、時間外の運動クラブや文化クラブに共同で取り組んでいます。医学部学生はスポーツ、文化活動、ボランティア活動などをおして、広い視野のもとに医学・医療を学び、人間性豊かな医師、医療人に成長することが期待されます。医学部附属病院は、医師と医師以外のメディカル・スタッフが密接に連携し、質の高い医療を提供することを目指しています。

医学は日々進歩しています。その進歩のスピードは増すばかりです。きょうには想像もしなかったことが、今日には漸くできるようになり、明日には日常となる様な大きな変革がしばしば起こります。そのために医療者には生涯にわたって学び続け、最新の知識や技術を身につける姿勢が求められます。群馬大学では常に自らを振り返り、足りない点を自己学修によって補う姿勢を身につけていけるよう支援をいたします。また、教育者・研究者・医療行政担当者など幅広いキャリア選択を支援いたします。

医学部では国際交流にも力を入れています。アメリカ合衆国、イギリス、ドイツ、モンゴル、台湾、韓国、インドネシア、タイ、コロンビア、ニカラグアなどの大学とは、学部学生が国際間交流を行っています。学生諸君が先進国や途上国の医療情勢を体験し、外国の医学系の知人と情報を交換し国際感覚を培うことは、将来的にも有用で意義深いことです。医学部では今後も国際交流の充実を進めていきます。

群馬大学で豊かな人間性を身に付け、地域に根ざしつつ世界にチャレンジする医療人を目指しませんか。

群馬大学医学部

現役学生座談会

次世代を担う

群馬大学医学部現役大学生が語る。

医学科 4年

三木 浩徳

東京都
開成高等学校 出身

ソフトテニス部でレギュラー目指して練習中。趣味は温泉と旅行。最近、青森まで鉄道で行き、船で函館に渡る旅を楽しんだ。

保健学科
看護学専攻 4年

宮下 夢生

茨城県
常総学院高等学校 出身

小児Ⅰ型糖尿病サマーキャンプボランティアサークルであるLEADSに所属し活動。趣味は編み物とお菓子作り。

医学科 4年

菅原 琉楓

群馬県
中央中等教育学校 出身

折紙研究会Originに所属、子ども折り紙を折るイベントを行う。幼少期から通うダンスクラブでダンスも楽しんでいる。

保健学科
作業療法学専攻 4年

中島 康貴

群馬県
東京農業大学第二高等学校 出身

飲食店でアルバイト。接客が楽しい。趣味はドライブとテニス。大学の友人とボウリングやビリヤードをすることも好き。

医療の道を目指すこと、 群大で医療を学ぶということ

——医療職を目指すと思ったきっかけや、数ある医学部の中で群大医学部を志望した理由を教えてください。

宮下: 高校生のとき、助産師を目指すと思ったのですが、看護学を学んだ上でそのまま助産師になれる大学を探して、群大が候補に挙がりました。私は、地域に住むお母さんたちが孤立せずに子育てするためのお手伝いをしたいと考えていて、それには助産師として関わるか、別の選択肢としては保健師として関わることもできるというのを高校時代に調べて知り、自分のやりたいことのためにはどちらの資格を取るのが適切なのだらうと考えました。群大であれば助産師の勉強も保健師の勉強もできる上、コースを選ぶのは3年次なので、群

大に行けば自分の視野も広がり、自分が本当にやりたいことも分かるのではないかと考えました。入学して勉強してみても、助産師のほうが自分のやりたいと思っていることに合っていると思い、今は助産師コースで学んでいます。

三木: 自分の父親が医師で、幼少期から「医師になるのも一つの道かな」と思っていたのですが、中高生の頃に「コウノドリ」など医療ドラマをいくつか見て、医師という職業はカッコいいなと思い始め、本格的に医師を目指すことにしました。「埼玉県にある実家から近い医学部」という観点で探す中で、群馬は環境も魅力的で、やがては車を持ちたいという希望もあったので、条件と好みに合う医学部として群大を選びました。

菅原: 医師になろうと思った大きなきっかけはないのですが、将来どういう形で社会に貢献して、人の役に立とうかと考えたとき、人間にとってとても重要なものである「健康」をサポートする職業である医

師という存在を意識しました。もう一つ、「大学で何を勉強したいか?」という視点で考えたときに、中高生の頃から生物学や人体について興味があったので、学問としての医学を学んでみたいと思いました。群大を選んだのは、地元であり身近だったからというのが一番大きいです。中学3年、高校1年など、何度も群大医学部のオープンキャンパスに参加して、スキルラボの体験をしたり、模擬講義を受けたり、図書館の中を見学したりしました。大学で学ぶイメージが湧きましたし、教員の方や学生の方と交流する機会もあり、「この大学で学びたい」と思うようになりました。

中島:医療職を目指すと思ったきっかけは、5歳くらいのときに群大病院で目の手術をもらったことです。とても不安だったのですが、医師の方や看護師の方がすごく励ましてくれたことをよく覚えています。このときの経験から、自分も医療職を目指したいと思いました。専攻については迷ったのですが、知り合いの介護福祉士の方に「作業療法士はとてもやりがいのある仕事だよ」とアドバイスをいただき、作業療法学専攻に決めました。実際に学んでみて、患者さんのいろいろな部分を見ながら支援を考えていくというところに大きな魅力とやりがいを感じています。自分は人と関わるのが好きで、誰かのためになりたいという思いも強いので、患者さんの役に立てる作業療法士の仕事が向いているのではないかと思います。

——群大医学部合格までの道のりは、皆さん、いかがでしたか?

三木:受験は正直、大変でした。私は受験浪人をしていて、1年間、医学部専門の予備校に通いました。予備校は高校と違って部活動などストレスを発散できる部分がないので、どうしても勉強漬けになってしまいます。そこが結構つらかったです。電車で予備校に通っていたので、一駅分とか二駅分とか歩くことでリフレッシュしながら帰ったりして気を紛らわせました。最終的にはかなり遠くから……1時間とか歩くようになって、すっかりウォーキングにハマってしまったりもしたのですが。

中島:自分は、高校2年の1月くらいから群大を目指し始めたのですが、最初は模試の結果がずっとE判定とかD判定で、だいぶきつかったです。高校に、同じく群大を目指している友達いて、その友達と一緒に頑張っていたら、共通テスト本番で今までで一番いい点数が取れて、奇跡的に受かりました。

三木:すばらしい。努力の結果であって、奇跡ではないと思う。

中島:判定がずっと悪かったときはめちゃくちゃつらくて、志望校を変えることも考えたのですが、群大を諦めたくなかったので頑張りました。

群大医学部での学び、前橋でのキャンパスライフ

——入学後に感じたことや、学ぶ中で考えていることなど、群大医学部の学びについて、感想を教えてください。

宮下:入学後からずっと、頻繁に「地域」という言葉を聞いている。保健学科自体がWHO協力センターに指定されていたり、看護学専攻で言えば保健師コースがあったり、そもそも地域のことを知らないと職業人として十分に働けないという前提もありますので、1年次から地域ということについて意識的に学んでいると思います。また、1年次は地域を理解する実習、2年次は人を理解する実習と、地域に暮らして

いる人を経て、次は施設に暮らしている人、そして病院と、段階を追って考えるようにカリキュラムが工夫されています。病院の人をいきなり見てしまうと、「人＝入院している人」と考えてしまいがちですが、1年次から地域を意識して、地域で暮らす人々と実際に関わる経験があると、入院されている方の背後にある地域について思いを馳せる思考法が身に付きます。そういった群大のカリキュラムの良さをすごく私は感じています。

菅原:医学部で、医学的な知識——という体の構造で、どういう病気があって、メカニズムはこうでということを経験することは想像できますが、医師を含む医療者になるためにはそれ以上に大事なことがあります。倫理的な面とか、医療安全的な知識とか……。患者さんの安全を守る上ですごく大事なそれらについての教育に群大が力を入れていることは知った上で入学したのですが、実際にそれらを学んでみて、そうしたことをしっかりイメージに入れて医師になるのと、全く



考えずに医師になるのでは、現場に入ったときに思うことが全然違うだろうなと感じることも多くて、そこは群大の大きな魅力だと思います。ちなみに医療安全というのは、聞き慣れない言葉かと思いますが、ちょうど今、チームスキル演習という科目で医療安全を学んでいて、人間が犯してしまうエラーについて、それを多職種でどうカバーし合って患者さんの安全を守るかなど、コミュニケーションをはじめとしたスキルのな面を教えていただいています。

三木:医学的知識があまりない低学年のうちから、将来医師になったときにどのような考え方をするかという、実際の症例に照らし合わせた授業があるのですが、「実際にこういう場面になったらどういう考え方をすべきなのか」というのを詳しく、友達と話し合いながら考えることができました。複雑な症例と出会った場合には、医学の知識どうこうよりも、患者の意見だったり、そういうものをいろいろと踏まえた上でどういう方向性に向っていかの考えることが必要で、そういう症例に早期に触れることができるのがいい点だなと思っています。

——学業以外での大学生活については、いかがですか?

宮下:前橋で一人暮らしをしているのですが、前橋は風が強いですね。群馬に来て、風が強すぎて自転車が進まないということが本当にあるんだと知りました。

三木:分かります。風は本当に強い(笑)。

宮下:それ以外は、前橋は暮らしやすいと思います。私は車を持っていないのですが、全然問題なく生活しています。キャンパス周辺にはスーパーもあるし、ドラッグストアもあるし、病院もある。車があれば、ちょっと遠くに行きたいときにもっと便利だとは思いますが。

——忙しいイメージのある医学部ですが、アルバイトはできますか?

三木:全然大丈夫ですよ。講義で忙しい時期というのは生じてしまうので、そういうときにはアルバイトは難しいかなと思いますが、それ以外のときには、やろうと思えば問題なく両立できると思います。

中島:テスト前と実習中以外は大丈夫です。

菅原:私は単発の試験バイトなどをしています。

思い描く“将来の自分”のイメージ

——今後どのような道に進みたいか、どのような医療人になっていきたいか、希望や夢はありますか?

三木:私は、4年次後半から始まる臨床実習でいろいろな診療科を回りながら、じっくりと自分の道を決めていこうと思っています。

菅原:高校生の頃や、低学年のときには、何となく「ジェネラリストってカッコいいな」と思っていたのですが、実際に医学を学んでみて、学べば学ぶほど医学という分野の広さや奥深さを感じます。そして、深さを知ってしまった以上は、どこかの領域のスペシャリストとして、困っている患者さんに深く関わって治療していくという道を究めたいと、気持ちが変わってきました。診療科は、今まで講義を受けた中だと、放射線の治療学が気になっています。手術と違って切ったりはしなくても局所的にがんを治すことができるとか、そういうところにすごく

魅力を感じています。ただ、実際のところがまだ分からないので、臨床実習でまた希望が変わるかもしれません。でもとにかく、何かしらのスペシャリストになって、深く患者さんと関わりたいなと思っています。**中島:**自分は、群大に入学して地域医療というのをすごく勉強したので、自分が生まれ育った大好きな群馬県のために働ける医療者になりたいと思っています。今4年生ですが、卒業後は群大の大学院に進もうと思っているので、研究などを通して医療界に何かしら貢献していきたいです。今年度から新たに、大学院への推薦入試制度ができたので、それを利用して進学したいと考えています。

宮下:私は、入学当初からの助産師になるという希望を叶えたいです。実習でお母さんたちと関わっていく中で実感したのは、現代のお母さんたちが置かれている状況の厳しさです。今は「子育て」が「孤育て」などと言われてしまうくらい、世の中のお母さんたちがみんな一人で悩んでいる。そういった課題の解決に携わっていける助産師になりたいです。特に、産後ケアの部分に関わることで、お母さんたちの不安に寄り添っていけたらと思っています。それと、これはすごく先のことになると思うのですが、将来的な夢もあります。助産師は助産院を開院することができるのですが、お産を取り扱わずに産後ケアだけをする助産院を開けたら、より地域のお母さんたちに密着した形で関わることができるのかなと思っているので、それを未来の理想として描いています。

群大医学部を志望する高校生へのメッセージ

——かつての皆さんのように、群大医学部を志望校として考えている高校生たちに、エールをお願いします。

中島:受験勉強をしている中では、大変なこともつらいこともいっぱいあると思うんですが、家族とか先生とか友達とか、そういう応援してくれている人たちが周りにたくさんいると思うので、大変なときはそういう人たちのことを思い出すと、踏ん張れるのではないかと思います。

菅原:やりたい夢が見つかって、それに向かって努力していく過程で、「私じゃダメかな」と弱気になってしまう瞬間がきつと何度もあるのではないかと思います。そんなときには、「自分にもいいところはある!」と考えて、地に足をつけて進んでいけるといいと思います。他人と比較して「もっと良くならなきゃ」などと思いつぎるのではなく、「自分のできる範囲で、やりたいことを追求していく」というイメージを持って、勉強やいろいろなことを頑張るといいのかなと思います。

宮下:私は高校3年生になるまで自分が何をやりたいのかよく分かりませんでした。これを読んでくれる人の中にも同様の人がいるかと思います。私の場合は、自分が少しでも興味を持てることについて一つずつ調べていって、「これかもしれない」を見つけました。そんな経験から、まだ進路が決まらなくて不安な人は、自分が気になることに素直に向き合って考えるということも大事だと思うので、勉強だけでなく、そういう時間も取ってもらえるといいのではないかと思います。

三木:受験の年はずっと忙しく勉強漬けの毎日が続いて、ゴールの見えない長い戦いになると思いますが、必ず終わりがくることなので、受験勉強が終わって大学生になる自分をイメージしながら、その晴れ晴れした日に向かって頑張っていってください。



医 学 科

SCHOOL of MEDICINE

北関東を代表する国立大学医学部。
北関東に広がる強力な関連医療機関ネットワーク。

医学科は、科学的知 (Science)、倫理 (Ethics)、技能 (Skill) の探求と、それらの統合による、医学の研究と教育の推進、ならびに医学と医療をリードする人材の育成を理念に掲げています。理念の実現に当たり、アウトカム (卒業時に目指すべき学生像) を設定し、アウトカム基盤教育カリキュラムの実施によって、国際基準の実力を有する、これからの時代に生き生きと活躍できる主体性と自律性を備えた医師の育成を目指しています。

医学科が探求する“SES”



Science 科学的知

Ethics 倫理

Skill 技能



学科長メッセージ

科学的知・倫理観・医療技術
バランスのとれた医師、研究者、
教育者の育成を目指して

医学科長 調 憲

群馬大学医学部医学科は「医学・医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、科学的知 (Science)、倫理 (Ethics)、技能 (Skill) の3つの面にわたって生涯自己研鑽を続けることができる」医療人の育成を目指しています。

医学部医学科は「生命」を学問する、それ自体が多様な学科です。群馬大学医学科では優れた医師、研究者、教育者としての皆さんのキャリア形成を幅広く支援します。



卒業時に身につけておくべき 8つの力

A. 自己省察力

自分にとって何が課題であるかを見定め、自己管理に努めながら、1つずつ課題に取り組むことができる。

B. 知識の獲得と知識を応用する力

基礎医学、臨床医学の各分野における知識を身につけ、それらがお互いに関連していることを理解し応用することができる。また、医師が持つべき知は医学にとどまらないことを理解し自然科学をはじめとする幅広い分野の知識を身につけ、それらを医学・医療に応用する力を培う。

C. コミュニケーション能力

相互理解と人間関係の構築を意識し、患者やその家族、スタッフと対話を重ねることができる。

D. チーム医療の中で協働する力

医療チームの他の構成員と積極的に対話を重ねる意義を理解し、他職種の専門性を尊重しながら対等な立場に立って協働することができる。

E. 基本的な総合診察能力

統合された知識、技能、態度に基づき、患者にとってより良い医療を提供するための実践的能力を有する。

F. 地域医療の向上に貢献する能力

医療の社会的・経済的側面を把握し、地域医療に貢献するための能力を身につけている。

G. 医学研究を遂行する能力

医学・医療の発展に資する研究を遂行する意欲と資質を備える。

H. 自己研鑽

医師としてのキャリアを継続させて、生涯にわたり自己研鑽を行う意欲を持ち続ける。

医学科について
詳しくはWEBをご覧ください



教育の特徴 CHARACTERISTICS of EDUCATION

POINT
01

安心・安全で質の高い医療を提供する人材の育成を目指す

医療の質と安全に立脚した医師の養成

全国の医学部の中でも先駆けて「医療の質・安全学講座」を設置しており、安心・安全で質の高い医療を提供する人材の育成を目指しています。6年間を通して、基礎・臨床医学の知識・技能に加え、行動科学やシステム思考、コミュニケーション、チームワーク、患者参加型医療など、幅広く学べるカリキュラムを提供し、患者さんやご家族の多様なニーズに対応できる医師としての力を身に付けます。また、安心・安全で質の高い医療を提供するためには、各医療専門職が専門性を発揮し協働する「チーム医療」が不可欠です。学生のうちから、ほかの医療専門職を目指す学生と連携する経験が持てるよう、保健学科の学生との合同講義・演習も設定しています。



チーム医療を学ぶ授業でのグループディスカッションの様子

POINT
02

地域医療マインドを持つ意欲的な人材を支援する

地域医療枠制度

群馬県の地域医療に貢献したいという強い意思を持って、これまでに300名の「地域医療枠学生」が群馬大学で学んでいます。学生時代から地域医療マインドを培っていきけるよう、「群馬県キャリア形成卒前支援プラン」に沿って、低学年から医師不足地域での地域医療体験セミナーや地域医療枠上級生との情報交換会など、複数の活動に参加します。医学生自らが「地域で」学ぶことを通じて、医師としての将来像を描きながら県内の医療情勢について関心を深めていきます。地域医療研究・教育センター、群馬県、関連医療機関と連携し、地域医療に関心のある医学生を「オールぐんま」で支援しています。



「数日型地域医療体験セミナー in 群馬」にて



WEB PAGE
群馬県地域医療支援センター

POINT
03

学生のうちから研究に参加
MD-PhDコース

病気の予防や治療を目指して研究を行う研究医を目指す学生はもちろん、臨床医を目指す学生でも研究に興味があればMD-PhDコースがお勧めです。本学のMD-PhDコースは放課後や長期休暇を利用する方式をとっており、医学部は6年間で卒業できます。MD-PhDコース生は、将来大学院に進学したときに1年早く博士号を取得することが可能です。また、研究に興味のある学生のネットワークである医学部学生研究会で交流を深めることもできますので、研究に少しでも興味のある方は参加してみてください。

POINT
05

充実したシミュレーション教育
スキルラボセンター

採血や気管挿管、縫合といった基本的手技から、内視鏡検査や超音波検査、そして腹腔鏡手術、ロボット手術などの最先端の医療技術までトレーニングを行うことができる、国内屈指の施設です。医学科生が、基礎医学の実習から臨床実習まで、さまざまな場面で利用している他、病院で働く医師や看護師、薬剤師などの医療従事者も利用し、医療技術の維持、向上に役立てています。実際の医療機器に触れたり、診療場面を再現するシナリオを設定してトレーニングを行ったりすることも可能です。

POINT
04

地域特性や医療に関わる
さまざまな体制を体感できる
豊富な実習施設

県内全域および県外の施設・病院の協力のもと、群馬大学医学部附属病院以外にさまざまな産業構造を持つ地域での実習を行っています。例えば、低学年での介護老人保健施設や介護老人福祉施設における実習、高学年の診療参加型臨床実習では、豊富な実習先の中から、自分の学びたい分野、自分の目指す将来像を見据えた実習先を選択できるのが魅力です。各実習協力施設とは定期的に意見交換をする場を設けており、より良い学びのために、常に実習の改善、向上を図っています。

POINT
06

入学から卒業まで学生をサポート
チューター制度

学生一人ひとりにチューター教員を割り当て、個別に指導と助言を行い、入学時から卒業時まで一貫して学生をサポートする制度を設けています。学生生活において困ったことがあった場合、学修上の問題があった場合、留学先や研修病院先への推薦書が必要な場合など、さまざまな場面で相談に乗り、適切なサポートをします。また、チューター制度以外にも学生相談員制度なども設けており、教職員一体となって学生生活をサポートしています。

STUDENT'S VOICE

将来は群馬県内で訪問医療に携わりたい

地域医療枠で入学すると、地域医療枠学生の交流会などを通じて学年を超えた関係を築く機会や、地域枠で学んで医師となった先生方と知り合う機会があり、自身の視野、知見を広げることができます。県職員の方々から定期的に県内医療の動向を伺うこともできます。私の場合は、地域医療体験セミナーに参加して訪問診療やへき地医療の実際を見たことで、自身の理想の医師像を「訪問診療やプライマリーケアも行える医師」と定めることができました。将来は感染症を中心に幅広く診られる、地域医療に求められる医師になりたいです。



地域医療枠制度

平石 瑠

医学科 6年

群馬県立前橋高等学校 出身

時 間 割

	月	火	水	木	金
1～2	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診
3～4	救急外来	救急外来	病状説明見学	内科外来見学	各種手技
5～6	病状説明見学	病棟回診	救急外来	各種手技	救急外来
7～8	各種手技	病状説明見学			病状説明見学
After school	読書			読書	

STUDENT'S VOICE

授業と研究を両立できることが魅力です

私は臨床の現場で患者さんと向き合いながら、研究も行う医師（フィジシャン・サイエンティスト）になることを目指しており、将来は臨床と基礎研究の両面から医学の発展に貢献したいと考えています。MD-PhDコースでは、在学中から研究室で研究ができ、大学院の授業も専攻履修が可能です。私は重粒子線の研究室に在籍しており、学会参加や学会運営、他の研究者との交流など、多くの経験を積むことができています。大学院の講義を通じて研究に関する知見を深めるため、夏季集中講義や放課後の講義を履修して学んでいます。

時 間 割

	月	火	水	木	金
1～2	消化管	肝胆脾	産科婦人科学・周産期医学	血液学・リウマチ膠原病学	内分泌乳腺
3～4					
5～6	皮膚・形成外科	脳・神経学	内分泌乳腺	臨床試験・臨床研究	チームスキル演習
7～8					
After school	研究活動	研究活動 アルバイト	研究活動	研究活動	研究活動 アルバイト

※研究活動は平均週3回程度。曜日は固定でないため、便宜上、月曜から金曜まですべての日に記載。



MD-PhDコース

保田 夏野

医学科 4年

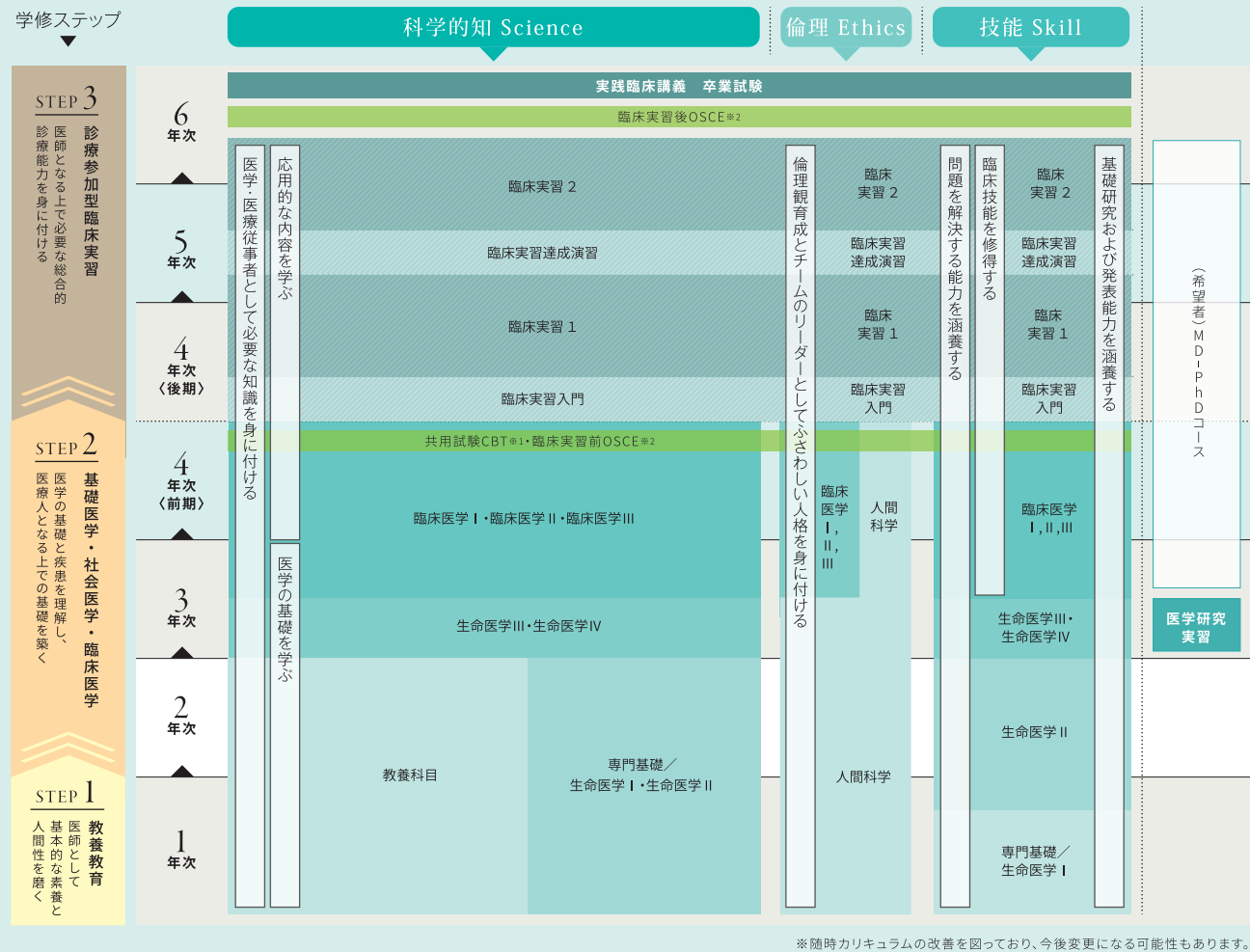
渋谷教育学園幕張高等学校 出身



カリキュラム CURRICULUM

医学科は、医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、科学的知 (Science)、倫理 (Ethics)、技能 (Skill) の3つの面 (SES) にわたって生涯自己研鑽を続けることができる学生の育成を目指します。

学修ステップ



※随時カリキュラムの改善を図っており、今後変更になる可能性もあります。

GLOBAL

国際的
視野を持つ
学生を応援!

◆ グローバルフロンティアリーダー (GFL) 育成プログラム

自国および他国の文化・歴史・伝統を理解し、外国語によるコミュニケーション能力を持ち、国内外において主体的に活動できる人（グローバルフロンティアリーダー）を養成するコースです。入学後に選考が行われます。



◆ 海外留学

夏休みを利用してインドネシアやコロンビアなどの大学や病院を訪ね、海外医療の現場を体験することができます。海外の医療の実情を学び、他国の医学生と友達になるチャンスです。

PICKUP CURRICULUM

教養教育・人間科学・専門基礎

医師には事実を客観的に捉えて分析し、既知の部分と未知の部分を明らかにした上で、問題解決の道を探求する科学者としての態度が必要となることは言うまでもありません。一方、臨床の現場での問題解決では、前もって用意されている正解があるわけではありません。一人ひとりの患者さんが満足できる医療を提供するためには、病気を抱えた人の気持ち、その生活様式や社会的背景までも細やかに理解しようとする態度が不可欠です。本学では特に社会の現実の中で生きる他者の生へと関心を向け、心情を想像する力、人とのコミュニケーションの図り方、自己表現力、他者のニーズに対して柔軟に対応する仕方を学びます。医師になろうとする者に必要な基本的な素養を身に付けていきましょう。

医師に求められる素養



科学者としての素養

人と社会を理解する文化的な素養

人類がこれまで築き上げてきた種々の
学問(文化)を学び素養を身に付ける



生命医学

解剖学、生理学、病理学、細菌学、法医学等さまざまな専門分野を学びます。医学を理解するには、まず正常な人体の構造と機能を学ばなければなりません。これらの基盤の上に、病気の原因やその成立過程を理解するために、通常の営みと異なった状態についても学んでいきます。また、公衆衛生学等で、健康に対する社会としての取り組みについても学びます。

临床医学

循環器疾患、呼吸器疾患、内分泌・代謝疾患、神経・精神系疾患等の幅広い疾患について、病態を理解しながら病気の症状や診断、治療等について学びます。診察や救命救急等の基本的な臨床手技の修得にはシミュレータも活用しています。4年次までの科目の全てに合格し、全国共通の試験である共用試験CBT(※1)、臨床実習前OSCE(※2)に合格すると、臨床実習生(医学)およびMedical Doctor Candidateとして認定されます。

医学研究実習

少人数班で研究室に所属し、医学研究の基本的技術やデータの解析方法について実習形式で学びます。

医学研究に興味のある学生は、MD-PhDコースに進むこともできます。

※1 CBT (Computer-Based Testing) 知識の総合的理解力を評価する客観試験

※2 OSCE (Objective Structured Clinical Examination) 客観的臨床能力試験 診療に参加する学生に必要な基本的技能・態度を評価する試験

臨床実習

臨床実習生(医学)に認定されると、医療チームの一員として診療参加型臨床実習に参加する資格が得られます。指導者の監督のもと附属病院および県内外の臨床実習協力施設で研鑽を積みながら、医師としての職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な内容を身に付けます。

臨床実習を修了し、全国共通の実技試験である臨床実習後OSCE、実践臨床講義、卒業試験に合格すると晴れて卒業となり、医師国家試験の受験資格が得られます。ただし、国家試験の合格は医師としてのスタートラインに立てたことを意味するに過ぎません。生涯を通じて学び、社会に貢献する医師、研究者、教育者、医療行政担当者になってほしいと思います。

◆教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)～このような教育を行います～

＜教育の目標＞

医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、科学的知 (Science)、倫理 (Ethics)、技能 (Skill) の3つの面 (SES) にわたって生涯自己研鑽する力が付く教育

1. 自分をふりかえり他者を思いやる心が育ち、コミュニケーションを通して相互理解を図る態度が身に付く教育
2. 自然科学、医学、医療、人間と社会に関わる知を習得し、それを実践でいかす力が身に付く教育
3. 新たな課題にも対応できる問題解決能力が身に付き、リサーチマインドが育つ教育
4. 生涯にわたって社会貢献と自己研鑽に努める意欲が育つ教育

＜教育課程の編成＞

1. 教養教育科目では幅広く深い教養、総合的な判断力、自然との共生を基盤とした豊かな人間性を涵養する。
2. 専門教育科目では、講義と実験・実習を通して医師、医学系研究者、医療行政担当者として社会に貢献するために必要となる知識、技能、態度を身につけさせる。
3. 臨床実習では、共用試験に合格し、Student Doctorと認定された学生が実践的な知識と技能を学ぶとともに、医師にふさわしい態度を身につけさせる。
4. 6年間を通して、医療安全、医療倫理、多職種連携の学修機会を提供する。
5. カリキュラムツリーやカリキュラムマップを用いて、教育課程の体系的な構成を明示するとともに、各科目の教育内容をシラバスに詳述する。

＜教育内容・方法＞

1. 教養教育科目および専門教育科目では、能動的学修を取り入れて深い教養、総合的な判断力、自然との共生を基盤とした豊かな人間性を涵養する。
2. 人間科学科目では、講義、実習に加えて、体験型、討論型授業を取り入れ、自分をふりかえり他者を思いやる心が育ち、相互理解を図る態度を身につく教育を行い、医師になろうとする者に必要な、知識と技能だけでなく基本的な素養を身につけさせる。
3. 生命医学科目、臨床医学科目、臨床医学講義・演習では、講義、演習、実習に加えてグループ学習を取り入れ、医師になろうとする者に必要な、知識と技能、新たな課題にも対応できる問題解決能力を身につけさせる。
4. 臨床医学実習では、チーム医療実習や臨床実習で医学、医療、人間と社会に関わる知識と技能及び医師としての素養を身に付け、実践でいかに力を身につけさせる。

＜学修成果の評価＞

1. 各科目において、シラバスに記載した評価方法に基づき到達目標の達成度を評価する。
2. 科目単位の評価と併せ、アウトカムに基づき医学生として求められる資質・適性・能力についても評価を行う。
3. 学修成果の評価は学則に従いA、B、C、Dの5段階での判定を行う。
4. 4年次に全国共通の学修到達度評価である共用試験を実施し、診療参加型臨床実習に参加するための知識・技能・態度について評価する。
5. 6年次に診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験を実施し、総合的臨床能力について評価する。

医学科教員紹介

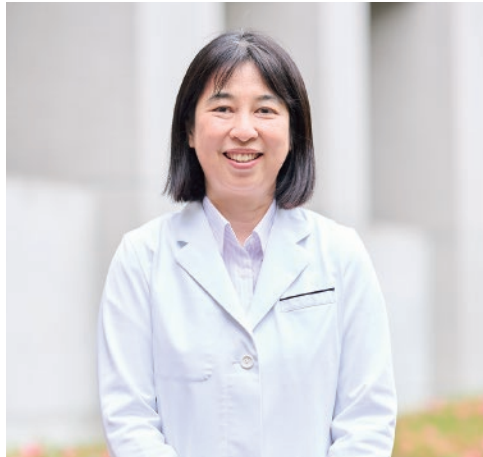
TEACHERS

新しい知識を広く学び続ける医師に

総合大学である群馬大学では、さまざまな学部・学科の学生と共に学べ、物事を多様な視点から見る姿勢が身に付きます。医学を含め、分野を横断した研究センターも整備されています。また、群馬県で唯一の医師養成機関であり、大学と県内および近隣の地域医療機関とが連携して教育を行っています。低学年から地域の医療機関で見学や実習ができるのは大きな魅力です。

私の担当は総合医療学で、「総合診療」について教えています。総合診療医は、患者さん一人ひとりのニーズに応じた幅広い医療を提供する医師です。その役割は、疾患や症状に対処することにとどまらず、患者さんの「思い」や「家族」や「住んでいる地域」を含めて理解し、生活習慣や社会的背景を踏まえた医療を提供することにあります。総合診療の「幅広さ」と「深さ」はやりがいにつながります。

医師の素質の基本は「学ぶって面白い!」「人間が好き!」だと思います。幅広い医学的知識と技術を持つと同時に、患者さんと信頼関係を築ける医師になってください。



総合医療学
小和瀬 桂子 教授

人を支える力を育む、挑戦と成長のキャンパス

整形外科は、骨や関節、筋肉、神経といった運動器の病気やけがを扱う診療科です。幅広い年代の患者さんに対し、けがの治療にとどまらず、機能回復や生活の質の向上を目指します。私が専門とするスポーツ医学では、アスリートのけがの予防や復帰支援に加え、科学的視点からパフォーマンス向上を追求しています。そこで得た知見は、一般の方々へ質の高い医療として還元されています。

医師を目指す皆さんには、病気やけがだけでなく、患者さんの生活背景や心の問題、アスリートであれば競技への思いや将来の夢まで含めて理解し、支えられる医師になってほしいと願っています。世界を舞台に活躍する医師や研究者として成長する道も、きっとここから拓けるはずです。

本学は自然災害が少なく、落ち着いた環境で学べるのが魅力です。首都圏からのアクセスも良好で、学生と教員の距離が近く、温かく親身な指導が受けられます。医学を志す皆さん、自分らしい未来を描きながら、群馬大学医学部と一緒に学びましょう。



整形外科学
設楽 仁 准教授

「自ら考え、選択できる医療従事者」を育成

担当は生理学です。解剖学が人体の正常な“形”を学ぶ学問であるのに対し、生理学は正常な“機能”を学ぶ学問です。“正常な機能”とは何かを知ることは、その破綻によって生じる疾患を理解する上で必須であるとともに、医師としての考え方の基盤となります。学生の指導に関しては、「自分で選択できる医療従事者」を育てたいと考え、選択するということに慣れるための工夫をしています。

本学には「MD-PhDコース」という、学部生のうちから医学研究に取り組む、最先端の研究に触れることができる制度があります。将来的に基礎研究の道に進むにせよ、臨床に進むにせよ、研究に取り組んだ経験は必ず活かせることと思います。興味のある方はぜひ挑戦してみてください。また、研究に限らず、大学時代には何かを一生懸命やってみるのが良いと思います。後先を考えて躊躇する必要はありません。やりたいことがあれば、とにかくやってみることをお勧めします。やりたいことが思い浮かばない人は、私と一緒に研究しましょう！



大学院医学系研究科 応用生理学分野
小尾 紀翔 助教

卒業生メッセージ

OB・OG MESSAGE

医師としての初心を忘れずに励む日々

瞬時的確な判断と高度な技術で患者さんを救命できることに強く魅力を感じ、循環器内科の道に進みました。現在は前橋赤十字病院にて、若手医師とともに心疾患患者さんの診療に取り組んでいます。当院は三次救急を担う県内有数の基幹病院であり、超重症の心疾患患者さんが数多く搬送されてくるため、各種の高度循環器治療を幅広く行っています。

医学は想像以上のスピードで進歩しており、日々新たな技術や概念、治療法を習得するために全力で研鑽を積んでいますが、極めるという境地には至らず、常に学びの連続です。しかしそれは楽しいことでもあるため、苦にはなりません。自らの技術と、仲間である医師やメディカルスタッフとのチーム医療によって患者さんの命を救えたときの喜びは、何ものにも代えがたいと実感します。



庭前 野菊 先生
1996年卒業

前橋赤十字病院
心臓血管内科
院長補佐 兼
心臓血管内科部長

常に最新の情報を得ながら成長していきたい

大学4年次の実習で血液内科を回った際、レクチャー等を通して血液疾患に興味を持ち、今に至ります。現在は主に入院中の患者さんの診察や検査、治療を行っています。扱う疾患は血液のがんが中心で、抗がん剤治療や放射線治療が必要になります。最新のデータを調べ、ときには他科の先生や他病院の先生にも協力を仰ぎながら、患者さんに適切な治療を選択していきます。この先も精進し、一人でも多くの患者さんの診療にあたることを、生涯の目標と考えています。

群馬大学では、基礎医学を学ぶ中でCTを用いた解剖学実習や症例問題を用いた生理学講義などがあり、早くから臨床とのつながりを意識できました。また、大学時代に築いた人間関係を大切にしています。別の科に進んだ同期や部活動の先輩方や後輩たちに、患者さんの紹介や症例についての相談でしばしばお世話になっています。

吉澤 遼 先生
2021年卒業

独立行政法人
国立病院機構
渋川医療センター
血液内科
シニアレジデント



● 医師国家試験合格率（新卒者）

2025年
医師国家試験 合格率

95.5%

(95.0)

※()内 全国平均

▶ 医師国家試験合格率推移

	群馬大学 (%)	全国 (%)
2025	95.5	95.0
2024	100	95.4
2023	93.8	94.9

▶ 医師国家試験受験者数と合格者数推移

	受験者数 (人)	合格者数 (人)
2025	111	106
2024	129	129
2023	130	122

主な就職先

群馬大学医学部附属病院
前橋赤十字病院
国立病院機構高崎総合医療センター
国立研究開発法人国立国際医療研究センター
東京大学医学部附属病院
東京医科歯科大学病院
自治医科大学附属さいたま医療センター
埼玉医科大学総合医療センター
筑波大学附属病院
千葉大学医学部附属病院 他

◆学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー) ～このような人材を育てます～

〈学位授与の条件、達成度・能力評価の基準〉

所定の年限在学し、かつ所定の単位を修得した、次のような者に学士の学位を授与します。

〈学修成果の目標〉

医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、科学的知 (Science)、倫理 (Ethics)、技能 (Skill) の3つの面 (SES) にわたって生涯自己研鑽を続けることができる者

具体的には、次のとおりです。

1. 医師にふさわしい倫理観と責任感を有し、医療チームの中で医師として適切な行動をとることができ、他者と信頼関係を築ける者
2. 医師、医学研究者、医学教育者又は医療行政担当者となるために必要な知識を身に付けるとともに、新たな課題にも対応できる問題解決能力を修得した者
3. 医学知識に裏打ちされた臨床と研究の能力を修得し、患者により良い医療を提供する能力と、医学や医療の発展に貢献する意欲を備えた者



保健学科

SCHOOL of HEALTH SCIENCES

国際的保健学研究の拠点形成 / 高度専門医療人の養成 チーム医療教育の推進 / 地域包括ケアシステムの支援

保健学科は「看護学専攻」「検査技術科学専攻」「理学療法学専攻」「作業療法学専攻」の4専攻から構成されています。いずれの専攻においても、学修を通して、豊かな見識を持ち、人間の尊厳を尊重する、全人的医療を担う人材を育成します。専門的な知識・技能を有し、高度化・専門化する保健医療の担い手となる人材、また、チーム医療においてリーダーシップを発揮できる人材、国際社会でも活躍できる専門職を育てていきます。

保健学科が重視する“Teamwork”

看護学専攻	Nursing	看護学専攻
検査技術科学専攻	Laboratory Sciences	検査技術科学専攻
理学療法学専攻	Physical Therapy	理学療法学専攻
作業療法学専攻	Occupational Therapy	作業療法学専攻

保健学科



学科長メッセージ

保健学で築く、 誰もが尊重される未来へ

－保健学で一人一人を大切にする公平な社会をつくる－

保健学科長 齋藤 貴之

現代社会において、保健学的重要性がかつてないほど注目されています。保健学は、疾患の予防や健康の増進に関する知識と手段を提供することで、個人だけでなく社会全体の健康に貢献する学問です。人間を身体的側面だけでなく、精神的、社会的側面からも総合的に理解し、健康の維持、疾病の予防・診断・治療・リハビリテーション、さらには介護予防に至るまでを支援する全人的医療の基盤となります。

群馬大学保健学科では、「トップレベルの専門的な研究・教育力」を基盤に、「群を抜いた、さまざまな国々との国際交流」、「附属病院・研究所との緊密な連携」、「日本有数の先進的な大型の大学院制度」、「先進的なデジタル教育」、「WHO認定のチームワーク教育」など、先進的な取り組みを行っています。さらに、2024年からはパブリックヘルス学環を新設し、保健学のトップリーダーを育成する体制を整えました。

高度に専門化が進む医療現場では、各職種が専門技術を高め、チームとして連携することで、初めて人々が安全で安心な医療を受けることが可能となります。保健学は、個々の「違い」を受け入れ、認め合い、共に生きていく公平な社会の実現を目指します。私たちと共に保健学を学び、発展させ、より良い社会を築いていきましょう。



地方国立大学の枠内では収まらない 本学保健学科の大きな魅力

1. 国立大学の保健学科・保健学研究科の中で、群馬大学は大規模かつ貴重な存在

医学部を持つ国立大学(42校)の中でも群馬大学の保健学科・保健学研究科は規模が大きく、医学系研究科と独立した保健学研究科を持っています。

入学定員数は、学科も研究科も上位(10位以内)にランキング。それだけ優秀な人材が生まれます。さらに、関東の国立大学で看護、検査、理学、作業の4専攻を持つのは群馬大学のみで、貴重な存在です。

2. 医学科と保健学科の両輪に加えて、医学部附属病院、研究所を同一敷地内に持つ

地方国立大学附属病院が立地している場所の中では規模の大きな前橋都市圏にあり、地方国立大学としては病床数も多くなっています。また、首都圏へのアクセス手段が多彩かつ便利で、学会参加や就職活動にメリットがあります。

医学科、保健学科、附属病院、研究所が同一敷地内にいることで、実習や研究に有利です。

3. 最先端かつ世界を視野に入れた機動性のある保健学科・保健学研究科

2024年より新たに「パブリックヘルス学環」を設置。時代を読み、保健学のトップランナーを目指します。

保健学研究科はWHO協力センターであり、多職種連携に強く、国際的な研究も多数発信しています。

保健学科について詳しくはWEBをご覧ください





教育の特徴 CHARACTERISTICS of EDUCATION

POINT
01

グローバルに活躍する 若手リーダーの育成

GFL(Global Frontier Leader)を毎年、保健学科から生み出しています。多角的な視点で国際理解を深め、世界を開拓する次世代のリーダーを育てます。ハワイ大学、ディーキン大学、モンゴル国立医科学大学、ワシントン大学、フィリピン大学などへ留学や国際交流を行っています。



POINT
02

WHO協力センターの 指定を受けたチーム医療教育

全人的医療を基盤として、医学、保健学、薬学など多専攻からなるチームを学生からつくりあげ、互いの価値観を理解しながら、チームビルディングを構築し、患者中心のチーム医療を学修していきます。



POINT
03

地域包括ケアシステムを 担う人材教育

誰もが住み慣れた地域で安心して生活するための医療・保健・福祉領域を包括的にカバーする人材を教育します。実習の場も医学部附属病院、在宅ケア機関、高齢者施設、行政機関と幅広く多様です。また、地域を支える学生保健学サポーター養成も行っています。

POINT
05

さらに研究力を育む 大学院進学之道

入学からアカデミックライティングを学び、専門科目でプロとしての知識・技術を修得するだけでなく、卒業研究を通じて探究心を磨きます。将来的に発見・発明を行う研究者を目指したい人には大学院進学への道が開かれています。

POINT
04

ベーシックから アドバンスに向かう教育

教員は臨床経験豊富なだけでなく、その領域のスペシャリスト・研究者です。基本をきちんと教育するだけでなく、その中から主体性、向上心を育て、将来、高度な医療専門職を目指す力を育てます。

POINT
06

「あなた」を支える チューター制度

担当の教員が1年生から4年生まで学修や就職、進学、悩みなどをサポートします。

STUDENT'S VOICE

看護学専攻

看護師資格に加え保健師の受験資格が得られ、病院での看護だけでなく地域での生活を支える看護についても学べる群大医学部に魅力を感じ、入学しました。本学は学生保健サポーターの養成や、サポーターとして参加できる地域活動の紹介にも力を入れています。私も積極的に参加してきました。民生委員や児童委員の方とお話する機会も多くあり、地域の健康づくりを担っている方々の活動の実態に触れることができました。卒業後は保健師として、こういった方々と協働しながら活動していきたいです。

4年 増田 音々
埼玉県立浦和第一女子高等学校 出身

時 間 割					
	月	火	水	木	金
1~2		地域看護学方法論 演習Ⅳ			
3~4					
5~6					
7~8			卒業研究Ⅱ		
9~10					
After school					サークル活動

※上記のほか5月中旬から52週間は看護学総合実習(6月初旬に地域看護学演習Ⅲ・Ⅳ(集中講義)、6月末~7月にかけて地域看護学実習Ⅱ)。

STUDENT'S VOICE

検査技術科学専攻

進化の過程で生じる遺伝子変異や医学に関する基礎研究に興味があったため、細胞検査士養成コースを有し、また敷地内に研究所があり研究機関としての側面も充実している群大医学部を選びました。研究室でのアルバイト等、学んだことを身近な場所で実践できる日々を過ごしています。学生の「知りたい!」という意欲に応えてくれる教員も多く、興味がある領域についてより詳しく学んだり、授業とは別に実験をさせてもらえることもあって、自身の関心やワクワク感を追求できる理想的な環境です。

3年 渡部 胡春
長野県立諏訪二葉高等学校 出身

時 間 割					
	月	火	水	木	金
1~2			検査機器総論	遺伝子検査学	細胞診断学
3~4		疫学	生化学検査学実習	検査管理総論	臨床生体機能学
5~6	臨床微生物学Ⅱ	老年学	臨床生体機能学Ⅴ	病態組織細胞学	チームワーク トレーニング
7~8	国際病原生物学実習	免疫検査学実習	臨床生体機能学実習		
9~10					
After school	アルバイト	サークル活動	アルバイト	サークル活動	アルバイト

STUDENT'S VOICE

理学療法学専攻

サッカーで怪我をした際に関わった理学療法士の方々の専門性や患者との向き合い方に魅力を感じ、理学療法士を志しました。スポーツ医学に精通する先生方が多く在籍する本学でならば、自身の目指す理学療法士像により近づけると考え、日々励んでいます。3年次のチームワークトレーニングの講義では、模擬的に多職種と連携しながら症例に取り組み、実際の臨床現場に近い経験を積むことができます。こうした大学での学びを活かし、将来は、患者さんにとって最適な治療を提供していきたいです。

3年 皆川 侑哉
山梨県立巨摩高等学校 出身

時 間 割					
	月	火	水	木	金
1~2		医療生命倫理	臨床理学療法学Ⅲ	整形外科Ⅱ	グループ学習、 実技演習
3~4	臨床運動学			神経内科学Ⅱ	
5~6	グループ学習、 実技演習等	地域医療保健推進論 ／老年学	臨床理学療法学Ⅰ	臨床理学療法学Ⅱ	チームワーク トレーニング
7~8		理学療法研究法入門	臨床理学療法学実習Ⅰ	臨床理学療法学実習Ⅱ	
9~10					
After school	アルバイト	アルバイト	アルバイト		アルバイト

STUDENT'S VOICE

作業療法学専攻

チーム医療に興味があったため、チーム医療を実践的に学べる本学に入学しました。作業療法学専攻は1学年20人と少人数なので、学生同士の仲がよく、皆で協力しつつ勉学に取り組んでいます。また先生方との距離も近く、講義内での疑問点などを気軽に質問できます。授業の中で先生方がお話しになる臨床での体験談には、教科書だけでは知ることのできない多くの学びがあります。将来は、患者様の気持ちに寄り添い、それぞれの要望に合ったリハビリテーションを提供できる作業療法士になりたいです。

3年 井上 茜理
富山県立富山東高等学校 出身

時 間 割					
	月	火	水	木	金
1~2	作業療法治療学 演習Ⅳ			整形外科Ⅱ	
3~4	(ADL・生活行為)		精神医学Ⅲ	神経内科学Ⅱ	作業療法治療学Ⅲ (老年・高次脳系)
5~6			作業療法治療学Ⅰ (身体障害系)		チームワーク トレーニング
7~8		作業療法治療学Ⅳ (発達障害系)		作業療法治療学Ⅱ (精神障害系)	
9~10					
After school		部活動			部活動

カリキュラム



保健学科は保健医療の専門職として、高い知識と技術、
確固たる倫理観と豊かな人間性を持ち、社会的使命を果たすことのできる人材を育成します。

看護学専攻

医療・保健の現場で看護の専門性を
発揮できる能力と地域完結型看護の実践力を育成

看護師コース

保健師コース
(定員40名)

助産師コース
(定員8名)

看護学教育の特徴

基礎から応用まで段階的に看護の専門的知識や技術を学びます。
人間のライフサイクル各期(母性・小児・成人・老年)における看護、
そして地域・在宅・精神看護、国際的な医療にも対応できるような
教育を行います。

主な科目と 4年間の流れ

1年次

早期体験実習
生活を理解する
実習

2年次

基礎看護学実習
生活を理解・支援
する実習

3年次

成人・老年・
母性・小児・
在宅・精神実習

4年次

地域看護学実習・
助産実習・
総合実習

知識や技術が効率よく修得できる カリキュラム構成

看護職を目指す講義、演習、実習等を行います。

看護早期体験実習

附属病院内の外来・病棟での健康障害を持つ
人との関わりから、看護の役割について学び
ます。看護の現場を早期に知る
ことで、これからの看護学の学修
への動機付けを
促します。



看護学総合実習

県内をはじめ国内外の病院・関連施設で実習
を行います。卒業に向けて、現場の看護職として
の、チーム間の連携を含めた総合的な看護
実践能力の向上と
地域を問わず質の
高い看護・医療の提
供に向けた指導を
行います。



検査技術科学専攻

国際的な活躍ができる
臨床検査技師育成を目指す

臨床検査技師となるために必要な知識の地盤を固め、
大学病院で最先端の検査を学ぶことができます。

検査技術科学教育の特徴

日進月歩で発展する検査技術科学分野の専門知識や技術を学び、
検体検査および生理機能検査をマスターして、高度専門化した医
療に対応できるような教育を行います。また、細胞検査士養成コー
ス(定員5名程度)も設置しています。

主な科目と 4年間の流れ

1年次

臨床検査総論
実習
(尿検査等)

2年次

専門科目実習
(病理、血液、
微生物検査等)

3年次

専門科目実習
(生化学、超音波、
輸血検査等)、
附属病院での
臨地実習

4年次

卒業研究

全人的医療×チーム医療

確固とした倫理観と豊かな人間性を持ち、
高度な技術と知識を備えた臨床検査技師育
成を目指します。そこで、遺伝子検査や画像
解析などの最新検査技術の教育に力を入
れています。さら
にチームワーク
実習を通じて、
チーム医療の重
要性を指導して
います。



卒業研究(1年間)

各教員の指導のもと研究を行い、論文作成・
発表を行います。これにより十分な研究手法
および研究的思考法を修得し、将来研究職・
教育職に就く人材育成が可能です。

PICKUP

国際社会で活躍できる人材育成

英語論文の輪読などをとおして、英語に
よる口頭・紙上発表の基本を学びます。ま
た、ワシントン大学医学部臨床検査学科
との交換留学も実施しています。

理学療法学専攻

新しい機能回復の理論、技術の
研究・開発能力を育てる

理学療法学教育の特徴

専門職としての態度や実践的な
技能の修得が円滑に図れるよ
う、科目の枠を超えた教育を心
掛け、机上での学修だけでなく、
臨床での体験や実習などを
とおした能動的な学修への支
援を重視しています。



主な科目と4年間の流れ

1年次

理学療法概論
グループ(1日)※教員引率

2年次

早期体験実習
グループ(6日)※教員引率

3年次

基本的臨床技能実習Ⅰ(OSCE)試験
基本的臨床技能実習Ⅱ
グループ(3日)※教員引率
臨床実習Ⅰ 学生2名ずつ(2週間)
臨床実習Ⅱ 学生1名ずつ(3週間)

4年次

応用的臨床技能実習
(Advanced OSCE)試験
総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ
学生1名ずつ(8週間)

PICKUP

参加型授業

理学療法学専攻ではグ
ループワーク、実技練習が
たくさんあります。

グループワーク

PBL入門

基礎医学的な知識の統合

グループワーク・実技

症例基盤型実習 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

それぞれの対象についての
理学療法評価と治療の臨
床思考過程と基本的技術
を修得

作業療法学専攻

生活障害を持つ人々の健康と幸福を促進する
支援技術を学ぶ

作業療法学教育の特徴

作業療法には、「身体障害」「精神障害」「発達障害」「高齢期の障
害」の4つの領域があります。体験をとおした参加型の実習によっ
て、いずれの領域でも活躍できる知識・技能を学びます。米国、モン
ゴル、フィリピン、台湾、韓国などの多くの海外の大学との交流や一
部の卒業研究での英語での発表など、国際的な視野に立つての教
育も行われています。

主な科目と 4年間の流れ

1年次

チームワーク原論

2年次

基礎・臨床医学
見学実習(1週間)

3年次

評価実習(3週間)
地域実習(1週間)

4年次

臨床技術実習
(OSCE)試験
総合臨床実習
(8週間×2)
国家試験対策

指導法
国立大学ならではの少人数
制を生かしたきめ細かな指導
を行っています。

作業療法評価学Ⅱ(障害領域別)

学習した発達検査を臨床場面で実際に
使用するための演習を行います。地域の
子どもとその保護者を招いて、実際の状
況を体験しながら学びを深めます。



卒業研究 10ヶ月

保健学科教員紹介

TEACHERS

看護師の関わりで患者さんは変わります



看護学専攻 上星 浩子 教授

看護職を目指し入学してきた学生が、初めて看護について触れるのが「基礎看護学」領域です。基礎看護学では、看護の対象である人間、環境、健康、看護について探究し、患者さんの状態に合わせて安全・安楽に看護ケアを行うための専門的知識や技術、態度を修得します。「患者さんのニーズを捉え、たとえ病気や障害を持っていてもその人がその人らしくいられるために必要な看護を提供できる看護師」を育成していきたいと考えます。看護の専門性や素晴らしさ、楽しさについて、一緒に考えていきませんか。

また群馬大学では、看護師以外に、保健師・助産師の受験資格も取得できます。研究者や教育者を目指して大学院に進学するという道もあります。医療という分野の中で多彩なキャリアを叶えられることも大きな魅力です。

仲間との意見交換で学びが深まります



看護学専攻 瀬沼 麻衣子 助教

担当は「成人・老年看護学」です。手術を受ける対象者の術前の準備から術後の回復過程について学び、退院後の生活も見据えた看護支援について考えます。対象者の年齢や既往歴、生活背景などにより回復のスピードは一人ひとり違うからこそ、対象者の情報を把握して信頼関係を築きながら、その人に合った支援と一緒に考えることが重要です。講義や演習では、学生に看護師としてのイメージを持ってもらうため、自身の看護師としての臨床経験を伝えることを心掛けています。

看護の対象は、病気を持っている人だけでなく、病気のリスクが高い人、病気を乗り越えて生活している人、より健康的な生活を目指す人などさまざまです。学生時代に、年齢や生活背景の異なる多くの人と積極的に関わることで、視野を広げることができると思います。

教員と学生の距離の近さも本学の魅力です



理学療法学専攻 小林 匠 教授

運動器疾患やスポーツ外傷・障害に対する理学療法を専門としています。理学療法士は、専門知識を有する人間として患者様やアスリートに寄り添い、療養の過程における小さな変化から大きな変化までを一緒に感じ、喜びや感動を共有することができます。だからこそ、患者様やアスリートの人生をより豊かにできる医療従事者になってほしいと考えています。

理学療法学専攻は少人数教育が特徴の一つであり、同じ道を志す仲間と協力したり切磋琢磨したりしつつ、目標に向かって成長することができます。また、大学院教育や卒業教育が充実しているので、卒業後のキャリアアップも目指しやすい環境です。

年間を通して天気の良い日が多い前橋市にある本学。晴れやかな気持ちで大学に通えます。ここで一緒に学びましょう！

患者さんと信頼関係を築ける理学療法士に



理学療法学専攻 中澤 理恵 助教

理学療法は、人の身体の動きや痛みの原因について考え、それらの問題に対して運動学・解剖学・生理学的な観点から評価・介入を行います。同じ疾患でも、患者さんそれぞれで問題や目標が異なるため、個別性を重視した対応が求められます。高齢者の身体機能低下の予防やスポーツ選手の外傷・障害の予防など、「予防」に対する支援も行います。学生には、患者さんの気持ちに寄り添える理学療法士になれるよう、学生時代にしかできない多くの経験を通して人間性を育んでほしいと考えています。

本専攻は1学年の人数が少なく、学生は和気あいあいと過ごしています。一方で、本学医学部には医学科および保健学科の他3コースもあるため、将来現場に出た際に共に働くことになる他(多)職種の学生たちと一緒に学ぶ機会も豊富にあります。

探究心を持ち、自ら考えることが重要です



検査技術科学専攻 多胡 憲治 教授

看護師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士といった医療職の国家資格を取ることの意義は大きいと考えますが、本学で学ぶ学生たちには、ぜひ研究の世界にも足を踏み入れて、学生のうちに研究の素晴らしさを体感してほしいと思います。

私の研究室では、正常な細胞ががん細胞になる過程で細胞の中で生じていることの解明や、がん細胞の増殖や悪性化を引き起こす原因の解明、および、それを抑制する化合物の探索を行っています。がん細胞を研究する過程で、正常細胞の増殖を調節するシステムの実体に触れることもあり、そのような現象が観察できたときには、研究をしていて本当に良かったと思います。

皆さんの中から、未知の問題を見つけ出して果敢に挑み、生命科学分野の研究を牽引していく人材が育つことを期待しています。

高度な知識・技術を有する人材を育てたい



検査技術科学専攻 柴田 孝之 准教授

採血により血糖や肝機能を数値化する「生化学検査学」と呼ばれる分野を担当しています。臨床検査技師国家試験で最も問題数の多い分野であり、学ぶことで、数値の病気との関連や、食事や運動といった日常生活の身体への影響を理解できるようになります。

本学は教員の数が多いため、専門知識を広く身に付けられる上、手厚い学生サポートも受けられます。また、研究活動が盛んであり、大学院に進学する学生や、卒業後に研究者として企業や公的機関等に就職する率も高くなっています。

臨床検査の自動化が進む中、測定原理や機器に精通し、問題提起能力および解決能力を有し、他者と協力してプロジェクトを遂行できる技師や、製薬企業や臨床検査企業といった現場で世界的に活躍できるような人材の育成を目指しています。

大学院進学率の高さも本学の特徴です



作業療法学専攻 三井 真一 教授

本学作業療法士専攻は、全国でも数少ない国立の作業療法士養成校として、高いレベルの教育と研究環境を提供しています。学部を超えた仲間と部活動に参加したりレジャーを楽しんだり、総合大学ならではの豊かな交流や経験が得られることも魅力です。

私は、人体の構造と機能について学ぶ「解剖学」の講義と実習を担当しています。解剖学は、病気の診断や治療、リハビリテーションを正しく行うための「医療の基礎力」であり、全ての医療専門職にとって欠かせない知識です。

AIの登場により、社会はますます変化し、進化し続けています。そんな時代を切り拓くには、自ら考え、柔軟に発想できる力が必要です。医療の枠を超えてさまざまな分野で活躍できる創造力と実行力を備えた人材の育成を目指し、指導にあたっています。

専門性と国際性を育んでください



作業療法学専攻 秋山 稜登 助教

身体障害領域の作業療法を担当しています。当分野は、患者様の運動機能の回復や維持をはじめ、日常生活動作や社会生活への参加に焦点を当てた支援を行います。患者様それぞれの生活スタイルや価値観を尊重した個別性の高い関わりが必要になるため、ニーズを丁寧に汲み取り、最善の支援を模索していきます。

本学は、専門的な知識・技術の修得はもちろん、国際的な視野を広げることができる充実した学びの環境が整っていることが魅力です。海外協定校との連携や国際共同研究、留学プログラム等を通じて、世界の学生や研究者と交流することができます。現代の医療は国境を越えて広がりつつあります。多様な文化や価値観を理解し、国際社会の中でも柔軟に対応できる能力を有する、グローバルな医療人材の育成にも力を入れていきたいと考えています。

卒業生メッセージ

OB・OG MESSAGE



妊婦さんの心身ケアのサポートもできる助産師が目標

もともと赤ちゃんが好きで、助産師の仕事に興味を持っていました。在学中の「母性看護学」の講義をきっかけに、妊娠期から産後の母子のケアに携わることのできる仕事をしたいと考えるようになり、本格的に助産師を目指しました。現在は産科婦人科病棟で、婦人科の患者さんのケアをしており、今秋から助産師業務を行う予定です。現場においてはまだまだ経験の浅い身ですが、日々の業務の中で一人でできる業務が増えたり、担当している患者さんに感謝の言葉をかけていただいたりすることに、やりがいを感じています。

大学で学んだ、看護の基本となる知識・態度は、今、患者さんとの信頼関係を築く上でとても役立っています。助産管理実習では、病院内の各部署の役割や看護職との連携、安全管理対策などについて学びましたが、その経験は今後、助産の現場において多職種でチーム医療を提供していく際に生きてくると思います。

私は卒業研究で「マタニティヨガの心理的効果」をテーマとしました。助産師として一人前になることができたなら、さらにマタニティヨガのインストラクターの資格を取得し、いずれは妊婦さんの心身のセルフケアもサポートできるような助産師になりたいと考えています。

大内 寧々 さん

2024年卒業
〈看護学専攻〉

群馬大学医学部附属病院
看護部
助産師



患者様と同じ目線で寄り添える理学療法士に

私は高校時代の怪我をきっかけに理学療法士という職業を知りました。チームメイトが怪我をした時に、「自分が助けになれば」と強く感じたことが、理学療法士を志す原点となりました。

現在は、主に循環器疾患を抱える患者様にリハビリテーションを行っています。循環器疾患は患者様によって症状が異なるため、リハビリテーションの進め方に悩むこともあります。日々学びながら取り組んでいます。自分の考えた介入内容で患者様の身体機能が改善し、その喜びを患者様と共有できることが大きなやりがいです。

仕事と並行して群馬大学大学院保健学研究科に所属し、骨・関節の配置における男女差について研究を進めています。この研究が、元々興味があったスポーツ障害予防の一助となることを目指しています。さらに、群馬スポーツリハビリテーション研究会のメディカルサポート活動を通して、地域のスポーツ活動支援に携わっています。

大学では、座学だけでなく、情報をもとに問題点を抽出し、評価方法や介入内容について学生同士で検討・議論する機会が多くありました。現在の臨床現場でも、自ら調べて考える力や、多職種との連携・意見交換が重要であり、大学で培った能動的な学びが大いに役立っています。

塩原あかり さん

2024年卒業
〈理学療法学専攻〉

群馬県立心臓血管センター
技術部 リハビリテーション課
理学療法士

大学での学びが現場で生きてくることを実感

子どもの頃から関心のあった「なぜヒトは病気になるのか？ 脳はどのような働きをしているのか？」を広く学ぶことができるのが臨床検査技師だと考え、検査技術科学専攻に入学しました。臨床検査技師の仕事は想像以上に幅があり、血液や、手術で摘出した臓器、遺伝子などを扱うほか、患者さんへの検査も実施します。検査と一口に言っても多くの分野に分かれており、どれも奥が深く、そこが面白いところです。

現在は血液検査を担当しています。小児病院の特徴かと思いますが、白血病や遺伝子疾患の患者さんが多いため血液検査に求められる知識も幅広く、日々勉強に励んでいます。埼玉という土地柄もあり、患者さんは国際色豊かです。業務の中で、患者さんと日常の出来事を話したり、時には進路や恋愛について相談を受けたりすることがあり、そうしたコミュニケーションも仕事の楽しみの一つです。

現場で働く中で、「これは、あの先生が授業で熱弁されていたことだ」と在学中の記憶がよみがえることが多々あります。国家試験のための勉強だけではなく、その先の実践に即した授業をしてくださっていたのだと実感します。これからも、日々進歩する医療に後れを取らないよう、知識を吸収し続けたいです。

阿部 千怜 さん

2023年修了
〈群馬大学大学院保健学研究科前期課程〉

埼玉県立小児医療センター
検査技術部
臨床検査技師



病院での仕事と大学院での研究を両立しています

私の両親が医療従事者だったこともあり、自分の中で医療職に就くことはごく自然なことでした。

現在は病院を職場とし、主に臨床でのリハビリテーションと書類業務を行っています。また、業務の傍ら、群馬大学大学院にて研究も行っています。

仕事の中で、試行錯誤しながら患者様に合わせたリハビリメニューを提供し、実際に改善が見られた際に、作業療法士としてのやりがいを感じます。

大学時代の思い出で印象に残っているのは、同級生とテストや国家試験の勉強をしたことです。一人では怠けてしまったり、心が折れてしまったりしたであろうタイミングでは、いつも同級生と一緒に何とか乗り切っていたように思います。友人と問題を出し合ったり、語呂合わせで覚えたりした内容は、今でもよく覚えています。また、卒業研究への取り組みは私にとって大きな刺激になり、卒業研究をきっかけとして大学院への進学を決めました。

今後の目標は、より多くの選択肢を患者様に提供できるよう、治療の引き出しを増やすことです。

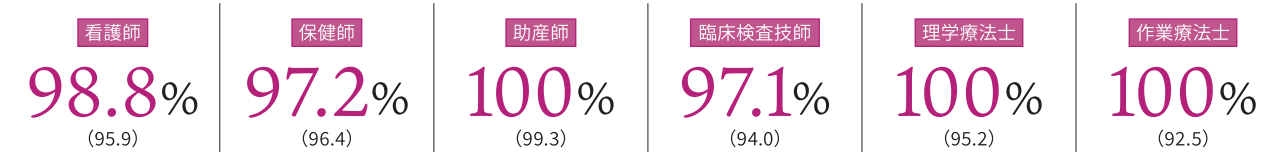
坂元 萌実 さん

2024年卒業
〈作業療法学専攻〉

公益財団法人老年病研究所附属病院
リハビリテーション部
作業療法士



● 国家試験の2025年 合格状況（新卒者）



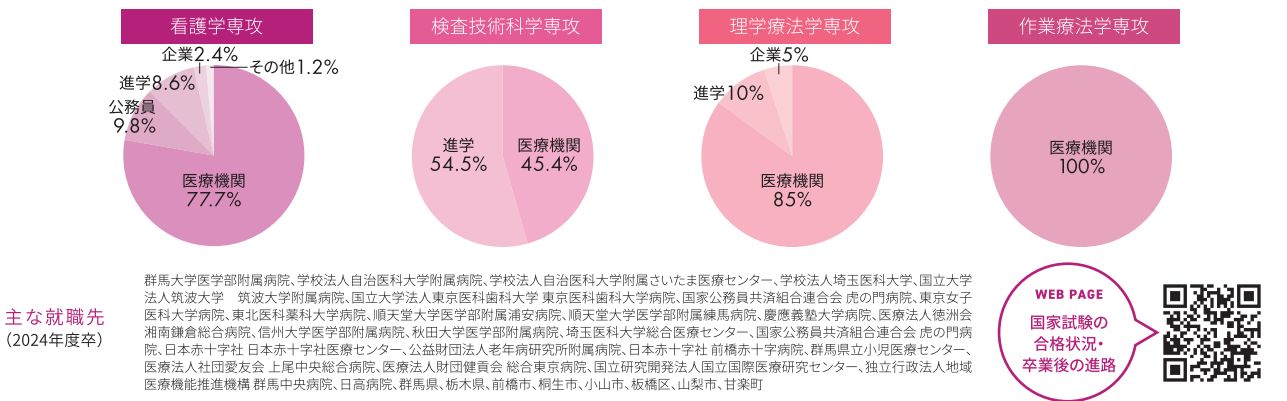
過去2年間

単位：％

	看護師	保健師	助産師	臨床検査技師	理学療法士	作業療法士
2024	100(93.2)	95.0(97.7)	100(99.3)	95.0(88.0)	100(95.2)	100(91.6)
2023	97.4(95.5)	100(96.8)	100(95.9)	100(89.5)	91.3(94.9)	94.7(91.3)

※（ ）内 全国平均

● 卒業後の進路（2024年度卒）



SHOWA

キャンパスマップ

CAMPUS Map

医学部は昭和キャンパスで学びます。

医学・保健学・医療を学ぶ場所であると同時に、
かけがえのない青春の時間を紡ぐステージとなります。



- | | | | |
|---------------|------------|----------------|-------------------|
| 1 医学部 基礎講義棟 | 6 保健学部 中央棟 | 11 群馬大学生協(昭和店) | 16 重粒子線医学センター |
| 2 医学部 基礎医学実習棟 | 7 保健学部 南棟 | 12 石井ホール | 17 群馬大学医学部附属病院 |
| 3 医学部 基礎医学棟 | 8 保健学部 新棟 | 13 刀城会館 | 18 アメニティーモール・コンビニ |
| 4 医学部 臨床講堂 | 9 共用施設棟 | 14 生体調節研究所 | 19 ゆめの子保育園 |
| 5 保健学部 西棟 | 10 医学図書館 | 15 課外活動施設、体育館 | |

1 医学部基礎講義棟



6 保健学科中央棟



16 重粒子線医学センター



17 群馬大学医学部附属病院



アメニティーモール・南病棟1階



イタリヤ食堂Cinema(チネマ)



尾瀬・BECK'S COFFEE SHOP 群大病院店

群馬大学生協(昭和店)



カフェプラタン



ローソン



CLUB & CIRCLE

クラブ&サークル

キャンパスライフをより豊かに！
大切な仲間と一緒に
目標に向かってチャレンジし、
充実した時間を過ごしましょう。

運動部

- | | | |
|------------------|---------|-----------|
| 弓道部 | バドミントン部 | 軟式テニス部 |
| 硬式テニス部 | ラグビー部 | バスケットボール部 |
| サッカー部 | 剣道部 | バレー部 |
| スキー部 | ゴルフ部 | 陸上部 |
| ダブルダッチサークル Rally | 準硬式野球部 | |
| 馬術部 | 卓球部 | |



文化部

- | | | |
|-----------------|----------------------------------|----------------|
| 囲碁・将棋部 | 医療系自主ゼミサークル e∞gg(えっぐ) | 漫画研究部 |
| 気象天文研究部 igakubu | ビッグバンドサークル Fore-Bridge Orchestra | Flow Orchestra |
| 軽音楽部 | 競技麻雀部 | |
| 茶道部 | 混声合唱団 | |
| 書道部 | 写真部 | |
| 東洋医学研究会 | ダンスサークル | |
| モダンジャズ研究会 | | |



ボランティアサークル

- | | |
|------------------------------------|------------------------------|
| 泉の会(知的障害の子とも遊ぶ会) | 国際ボランティア学生協会 IVUSA |
| たんぽぽ(自閉症児ふれあい支援) | 小児糖尿病サマーキャンプボランティアサークル LEADS |
| 小児喘息・アレルギーキャンプのボランティアサークル AAA☆kids | |

*このほかにもたくさんのクラブ・サークルがあります。

Campus LIFE

キャンパスライフ



車があると生活に便利。

ドライブも楽しんでいます。

学業の合間にラグビー部のマネージャーとして活動に励んでいます。今年は会計も任せてもらっています。休日や平日の夜には、部員たちと学年関係なく遊んでいます。部活のことが大好きです。大学の周辺には多彩なスーパーがあるので、いろいろなスーパーで買い物を楽しんでいます。学生向けの安くて量の多い飲食店も多く、外食にも困りません。おすすめのお店は「ホワイト餃子」。私好みのカリカリの揚げ焼き餃子で、味噌のつけダレが本当においしいです。



思い出の一枚

ラグビー部の
夏合宿でBBQを
したときに撮影。
楽しかった～！

医学科

4年 猿渡 有彩

東京都
豊島岡女子学園高等学校 出身

学びに、青春に、全力で向かい合って、
自分らしく日々を過ごし、未来を描く学生の姿をご紹介します。



群馬には、おいしい食事と

良い温泉がたくさんあります。

学部の授業に加えて、日常的に医学研究を行っています。合間に時間を見つけて読書やアニメ鑑賞、旅行などを楽します。前橋は車があれば便利な街です。おいしいラーメン屋も多いです。ラーメン二郎千代田店、湘屋前橋店、らーめんつづの旨…おすすめです。群馬と言えば温泉も有名ですが、草津や伊香保といった観光地以外にも、高崎の湯都里や渋川のスカイテルメなどなど安くて良い日帰り温泉がたくさんあるので、好きな人はぜひ行ってみてください。



思い出の一枚

陶板で再現した
絵画で知られる
徳島の大塚美術館
で撮影しました。

医学科

4年 定方 瑞樹

群馬県立
前橋高等学校 出身

学業に取り組みつつ、趣味の

ギターやカメラも楽しむ日々。

栃木県から電車とバスで通学しています。平日は大学に行き、休日はアルバイトをしています。長期休暇には友人と旅行に行くこともあります。入学後にギターを始め、日々練習をしながら、ギターサークルで毎月開催するライブにて演奏しています。大学周辺はカラオケやボウリング、公園など、遊ぶ場所に困りません。また、ごはん屋さんや学生向けの飲み屋さんが多く、友人やサークルの仲間と食事や飲み会を気軽に行うことができます。



思い出の一枚

2025年春休み、
友人たちと
千葉県に旅行に
行きました。

保健学科
看護学専攻

4年 茂呂 優真

栃木県立
足利高等学校 出身



二つのアルバイトを掛け持ち。

学びも多い貴重な経験です。

理学療法学専攻は性別関係なく仲が良く、誕生日会やテストお疲れ様会がしばしば開かれます。私はGFLに所属しており、2年次の春休みには1か月間オーストラリアのディーキン大学に留学しました。英語学校で友人をつくったり、ホストマザーと暮らしたりと、充実した時間となりました。また、昭和キャンパスで開催しているEnglish Caféの副代表を務め、英語を通して楽しく国際交流できる場をつくっています。休日の楽しみはミュージカルやコンサート観賞です。



思い出の一枚

豪州での一枚。
GFLの仲間と
St. Kildaの
ビーチにて。

保健学科
理学療法学専攻

3年 柳澤 遥愛

群馬県立
富岡高等学校 出身



桜に、花火大会、紅葉…。

群馬は四季折々に美しい！

臨床検査技師になるための勉強に励みつつ、放課後には演劇部の活動に全力を注いでいます。休日は友人と遊びに出かけたり温泉に行ったり。余暇と勉強のバランスをとりながら充実したキャンパスライフが送れています！前橋は飲食店も多く、住みやすい街です。オススメスポットは「前橋プラザ元気21」。無料で使える勉強スペースに行き、気合を入れたり、スタジオを借りて演劇をしたりしています。地下のドラッグストアで買い物ができるのも便利です。



思い出の一枚

文化祭公演後に
演劇部の仲間と。
みんないい表情！
大切な一枚です。

保健学科
検査技術科学専攻

2年 橋本 拓歩

埼玉県
栄東高等学校 出身



最近、ゲームセンターの

リズムゲームにハマり中。

一人暮らしをしています。1年次は荒牧キャンパスまで徒歩で通い、約20kgの減量に成功。現在は車を手し、授業やアルバイトのあとにドライブを楽しんでいます。アルバイトは週3回、自宅近くのお店で。外食時の第一選択は大学そばの台湾料理店「天福」です。入学後すぐに、学科の仲間たちの協力のもと、手話サークル「紡ぐ」を立ち上げました。私自身、手話はまだまだ勉強中ですが、週に1度、ゲームなどを通してメンバーと共に楽しく学んでいます。



思い出の一枚

友人の推薦で
「群馬大学ミクス
コンテスト2024」
に参加しました！

保健学科
作業療法学専攻

3年 加藤 貴裕

神奈川県
桐光学園高等学校 出身

Q & A

群馬大学医学部に進学を希望する皆さんの
気になる疑問・質問にお答えします！

Q 1年次は荒牧キャンパスに通うのですか？

A 医学部の1年次の講義は週3日を荒牧キャンパスで、残り2日を昭和キャンパスで受講します。2年次以降は全講義を昭和キャンパスで受講します。両キャンパスの距離は約3.5km(徒歩約45分・自転車約20分)です。下宿生は昭和キャンパス付近(荒牧キャンパス寄り)に住むことが多いです。



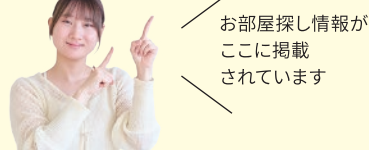
Q 何かで困ったときに相談できる窓口はありますか？

A 医学部医学科・保健学科とも、チューター制度を設けています(詳細:医学科 p6、保健学科 p15)。また、助言を行うための全学的な機関として、荒牧地区(昭和地区含む)に学生相談室があります。外国人留学生には、国際センターでも相談に応じています。体調面の不安については、学生を身体的・精神的にサポートする学内の医療機関「健康支援総合センター」において、医師と看護師が、体と心の健康相談・保健指導、応急処置、医療機関への紹介、健康教育、カウンセリングなど、卒業するまでの健康管理をサポートしています。

Q 一人暮らしを始めます。下宿先や住まいに関する情報を提供してもらえますか？

A 大学の窓口で斡旋はしていませんが、生協でお部屋探しに関する情報を提供しています。

群馬大学生生活共同組合ホームページ
<https://www.univcoop.jp/gundai/index.html>



Q 奨学金はどのような種類がありますか？

A 群馬大学では、日本学生支援機構の奨学金をはじめ、地方公共団体や民間奨学団体などの各種奨学金を取り扱っています。奨学金制度には、返還が必要な貸与型(無利子・有利子)と返還が不要な給付型があります。いずれの奨学金制度も学業・人物がともに優秀であって、経済的に授業料等の支出が困難な学生が対象となります。

奨学金は
学びたい気持ちを
応援してくれます



Q 過去問題は公表していますか？

A 特別選抜、一般選抜の問題、解答例、評価ポイント等については、群馬大学ホームページに掲載しています。



群馬大学ホームページ 過去の入試問題
https://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm001/adm001_002



合格めざして
がんばろう！

Q サークルやアルバイトと学業の両立はできますか？

A 所属するサークルやアルバイトの職種等によってかなり左右されると思われますが、きちんとした自己管理と計画性を持てれば、学業と両立させることは大抵の場合可能だと思われます。現在、多くの先輩がサークルやアルバイトと学業を両立させて医学部で学んでいます。



2026年度医学部保健学科における 入学者選抜の変更について

下記入試の変更点や群馬大学保健学科の魅力について、保健学科広報委員長がデータを交えてお話しします。▶▶▶



医学部保健学科における入学者選抜について、2026年度入学者選抜から、下記のとおり実施します。

2026年度入学者選抜における大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

学科等名	学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科目名等	受験を要する教科・科目数	教科等	科目名等	
保健学科看護学専攻	前期	国語	『国語』	必須	外国語	『英語（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ）』	
		地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』	から1			
		公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）	必須			
	後期	数学	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	必須 必須	その他	面接	
		理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 ※医学部保健学科注意事項（5）を確認してください。 『物理』、『化学』、『生物』	から1	その他	面接	
学校推薦型	外国語情報	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 『情報Ⅰ』	から1 必須	その他	小論文、面接		
保健学科検査技術科学専攻	前期	国語	『国語』	必須	数学	『数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B（数学と社会生活は除く）、数C（ベクトル）又は「数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B（数学と社会生活は除く）、数C（数学的な表現の工夫は除く）」』	から1
		地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』	から1			
		公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）	必須			
		数学	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	必須 必須			
		理科	『物理』、『化学』、『生物』	から2			
		外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1			
	情報	『情報Ⅰ』	必須	理科	『物基・物』 『化基・化』 『生基・生』	から2	
後期	外国語	『英語（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ）』	その他	面接			
学校推薦型	その他	面接					
保健学科理学療法専攻	前期	国語	『国語』	必須	数学	『数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B（数学と社会生活は除く）、数C（ベクトル）又は「数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B（数学と社会生活は除く）、数C（数学的な表現の工夫は除く）」』	から1
		地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』	から1			
		公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）	必須			
		数学	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	必須 必須			
		理科	『物理』、『化学』、『生物』	から2			
		外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1			
	情報	『情報Ⅰ』	必須	理科	『物基・物』 『化基・化』 『生基・生』	から2	
後期	外国語	『英語（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ）』	その他	面接			
学校推薦型	その他	小論文、面接					
保健学科作業療法専攻	前期	国語	『国語』	必須	数学	『数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B（数学と社会生活は除く）、数C（ベクトル）又は「数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B（数学と社会生活は除く）、数C（数学的な表現の工夫は除く）」』	から1
		地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』	から1			
		公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）	必須			
		数学	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	必須 必須			
	理科	『物理』、『化学』、『生物』	から2	理科	『物基・物』 『化基・化』 『生基・生』	から2	
外国語		『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1				
情報	『情報Ⅰ』	必須	外国語	『英語（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ）』	その他	面接	
学校推薦型	数学	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理』、『化学』、『生物』 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	必須 必須 から2 から1	3教科5科目	その他	小論文、面接	

(注)1 大学入学共通テストの利用教科・科目について
(1)『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合は、出題範囲(『地理総合』、『歴史総合』、『公共』)のうち、2つを選択解答します。
(2)『地理歴史』及び『公民』について、以下の組合せを選択することはできません。
・『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできません。
・『地理総合/歴史総合/公共』を選択した者は、選択解答した問題の出題範囲と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。
(3)『数学Ⅱ、数学B、数学C』の出題範囲のうち、『数学B』及び『数学C』は、『数学B』の2項目の内容(数列、統計的な推測)及び『数学C』の2項目の内容(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)のうち3項目の内容の問題を選択解答します。
(4)『地理歴史』及び『公民』について、2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
(5)看護学専攻において、『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』を選択する場合は、出題範囲(『物理基礎』、『化学基礎』、『生物基礎』)のうち、2つを選択解答します。
(6)看護学専攻において、『理科』を2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
(注)2 個別学力検査等について
(1)作業療法専攻前期日程において、数学又は理科の高得点の科目の成績を用います。

入学について



医学科

https://www.med.gunma-u.ac.jp/
TEL.027-220-8910



保健学科

https://www.health.gunma-u.ac.jp/
TEL.027-220-8909

医学科 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー) ～このような人を求めています～

■人材育成の目標

医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、科学的知 (Science)、倫理 (Ethics)、技能 (Skill) の3つの面 (SES) にわたって生涯自己研鑽を続けることができる人

■入学者に求める能力・資質

- 豊かな感受性、奉仕の精神を備え、医師としてふさわしい資質を身に付けることを目指して、不断の努力を積み重ねられる人
- 医療、医学研究、医学教育もしくは医療行政などの分野において、社会に貢献することへの志と強い信念を持っている人
- 本学科の教育内容を理解するために必要な総合的基礎学力を十分に備えている人

■入学前に学習することが期待される内容

特に日常的な学習が十分に行われていることが望ましいのは、国語と英語である。専門科目を学ぶために必要となるのは、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・Bであり、理科では、受験科目にかかわらず、物理(物理基礎を含む)、化学(化学基礎を含む)、生物(生物基礎を含む)である。

■入学者選抜の基本方針

本学科では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

一般選抜 前期日程	③に対しては大学入学共通テストと学力検査(数学、理科)を、①、②、③に対しては小論文と面接を課します。
学校推薦型選抜	③に対しては大学入学共通テストを課し、①、②、③に対しては小論文と面接を課します。また、出願書類(調査書、推薦書、適正資質調査書、志望理由書)を加え、総合して判定します。
私費外国人留学生選抜	日本語での大学教育を受けられる日本語能力を身に付けているかどうかを判断するために日本留学試験を課しています。また、③に対しては学力検査(数学、理科)を、①、②、③に対しては小論文と面接を課します。さらに、成績証明書を加え、総合して判定します。
帰国生選抜	③に対しては学力検査(数学、理科)を、①、②、③に対しては小論文と面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。
2年次編入学	①、②、③に対しては小論文と面接を課します。また、出願書類等を加え、総合して判定します。

■入学者選抜方法における重点評価項目 ※該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

入試区分	入学者選抜方法	該当する「学力の3要素」		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働する態度
前期一般選抜	大学入学共通テスト	○	○	
	学力検査(数学、理科)	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書・志望理由書(地域医療枠志願者のみ)	面接時の参考資料として利用		
学校推薦型選抜	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書	○	○	○
	推薦書		○	○
	適正資質調査書		○	○
	志望理由書(地域医療枠志願者のみ)		○	○

入試区分	入学者選抜方法	該当する「学力の3要素」		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働する態度
前期一般選抜	日本留学試験	○	○	
	学力検査(数学、理科)	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	成績証明書	面接時の参考資料として利用		
帰国生選抜	学力検査(数学、理科)	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	出願書類	面接時の参考資料として利用		
	小論文	○	○	
2年次編入学	面接	○	○	○
	出願書類等	面接時の参考資料として利用		

学費

入学時および在学中に授業料の改定が行われた場合は、新授業料を適用します。毎年2期(前期:4月、後期:10月)に分けて徴収します。

入学料	282,000円	授業料	535,800円(年額)
-----	----------	-----	--------------

■その他必要経費

医学科

入学時に必要な経費(予定)	刀城クラブ・同窓会終身会費	170,000円
	後援会費(共用試験等受験料を含む)	129,000円(119,000円)
	学生教育研究災害傷害保険料	4,800円(4,130円)
	学研災付帯賠償責任保険料	3,000円(2,500円)
	医療費補助会費	12,000円
	荒牧クラブ・サークル協議会費	5,000円
	学友会費	9,500円(8,000円)
合 計		333,300円(320,630円)

テキスト代など	年間約150,000円程度
---------	---------------

※()内の金額は、編入学した場合

保健学科

入学時に必要な経費(予定)	同窓会終身会費	40,000円
	後援会費 ¹⁾	40,000円(20,000円)
	学生教育研究災害傷害保険料	3,370円(1,790円)
	学研災付帯賠償責任保険料	2,000円(1,000円)
	荒牧クラブ・サークル協議会費	5,000円
	学友会費	4,000円(2,000円)
	合 計	94,370円(69,790円)

学外実習交通費	看護・検査技術科学専攻では一部の実習が学外で行われ、旅費の負担が必要です。理学・作業療法学専攻では臨床実習の大半が学外施設で行われ、旅費や場合により宿泊費等の費用が必要となります。
テキスト代など	年間50,000円～70,000円程度(専攻による)

¹⁾後援会費は、2026年度から変更になる可能性があります。

※()内の金額は、編入学した場合

保健学科 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー) ～このような人を求めています～

■入学者に求める能力・資質

群馬大学及び保健学科の理念と教育目標に賛同し、本学の教職員と共に地域社会や国際社会で未来を切り拓く保健学の実践者・教育者・研究者のリーダーになる意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求める。

- 高等学校の教育課程についての総合的な理解と大学教育を受けるにふさわしい基礎学力がある人
- 新しい課題を見つけ主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている人
- 全人的医療に貢献するために人間の尊厳と倫理観を重んじられる人
- 多職種連携と医療安全に貢献できるコミュニケーション能力を持っている人
- 高い志と豊かな発想力を持ち、未来を切り開く夢と情熱を持っている人
- 地域社会や国際社会に貢献する意欲を持つ人

■入学前に学習することが期待される内容

各入学者選抜の出願要件に定める科目について履修又は履修見込みであること。

■入学者選抜の基本方針

本学科では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

一般選抜 前期日程 (看護学専攻)	①、②に対しては大学入学共通テストと学力試験を課します。②～⑥に対しては面接を課します。また、出願書類(調査書)を加え、総合して判定します。
一般選抜 前期日程 (検査技術科学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻)	①、②に対しては大学入学共通テストと学力試験を課します。②～⑥に対しては出願書類(調査書)により評価を行った上で、総合して判定します。
一般選抜 後期日程	①、②に対しては大学入学共通テストを課します。②～⑥に対しては面接を課します。また、出願書類(調査書)を加え、総合して判定します。
学校推薦型選抜	①、②に対しては大学入学共通テストを課します。看護学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻は②～⑥に対しては小論文及び面接を課します。また、出願書(調査書、推薦書)を加え、総合して判定します。検査技術科学専攻は②～⑥に対しては面接を課します。また、出願書類(調査書、推薦書)を加え、総合して判定します。
私費外国人留学生選抜	日本語での大学教育を受けられる日本語能力を身に付けているかどうかを判断するために日本留学試験を課しています。①、②に対しては学力試験を課します。②～⑥に対しては面接を課します。また、成績証明書により評価を行った上で、総合して判定します。
帰国生選抜	①、②に対しては学力試験を課します。②～⑥に対しては面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。
社会人選抜	①、②に対しては学力試験を課します。②～⑥に対しては面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。
3年次編入学	①、②に対しては学力試験(専門科目、外国語)を、②～⑥に対しては面接を課します。また、出身学校の成績証明書及び志望理由書等により評価を行った上で、総合して判定します。

■入学者選抜方法における重点評価項目 ※該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

入試区分	入学者選抜方法	該当する「学力の3要素」		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働する態度
前期一般選抜	大学入学共通テスト	○	○	
	学力試験(外国語)※看護学専攻のみ	○	○	
	面接 ※看護学専攻のみ			○
	学力試験(数学・理科・外国語)※看護学専攻以外の専攻	○	○	
	調査書	面接時の参考資料として利用		
後期一般選抜	大学入学共通テスト	○	○	
	面接		○	○
	調査書	面接時の参考資料として利用		
学校推薦型選抜	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文※検査技術科学専攻以外の専攻		○	○
	面接		○	○
	調査書・推薦書	面接時の参考資料として利用		
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	○	○	
	学力試験(外国語)※看護学専攻のみ	○	○	
	学力試験(数学・理科・外国語)※看護学専攻以外の専攻	○	○	
	面接		○	○
	成績証明書	○		

入学者選抜

■2025年度入学者選抜実施状況(2024年度実施)

医学科

	推薦	前期日程	帰国生	私費外国人留学生
募集人員	37(25,12)	73(65,8)	若干名	若干名
志願者数	99(70,29)	374(341,33)	1	0
受験者数	99(70,29)	188(167,21)	0	0
合格者数	37(25,12)	77(69,8)	0	0
入学者数	37(25,12)	73(65,8)	0	0

※()内は出願区分内訳(「一般枠」、「地域医療枠」) ※合格者には追加合格者を含みます。

保健学科

	看護学専攻						検査技術科学専攻						理学療法学専攻						作業療法学専攻					
	推薦	帰国生	社会人	前期日程	後期日程	留学生 私費外国人	推薦	帰国生	社会人	前期日程	後期日程	留学生 私費外国人	推薦	帰国生	社会人	前期日程	後期日程	留学生 私費外国人	推薦	帰国生	社会人	前期日程	後期日程	留学生 私費外国人
募集人員	30	若干名	若干名	33	17	若干名	9	若干名	若干名	22	9	若干名	8	若干名	若干名	8	4	若干名	8	若干名	若干名	8	4	若干名
志願者数	69	0	0	83	163	0	52	0	0	63	99	0	30	0	1	21	50	0	15	0	0	24	42	0
受験者数	69	0	0	78	65	0	52	0	0	63	43	0	30	0	1	21	20	0	15	0	0	24	21	0
合格者数	30	0	0	37	23	0	11	0	0	23	14	0	9	0	0	8	5	0	8	0	0	8	5	0
入学者数	30	0	0	33	17	0	11	0	0	21	7	0	9	0	0	8	4	0	8	0	0	8	4	0